

学びの入り口の探し方

仕事のスキルアップや自分磨き、
そして日々の楽しみに「学ぶこと」は
人生を豊かにしてくれます。
興味を持ったことや気になったことを学びにつなげ、
生活の中に取り入れるための秘訣を伺います。

関東支部 梶山亮子さん

経営者秘書、グループ秘書、研
究室秘書を含め秘書歴約14年。
現在、教育機関や社会人に対す
る研修の講師とキャリアコンサル
タントとして活動



私の学びの スタイル

私にとって「学び」は二種類あり
ます。一つは身近な人との関わりか
ら得る「学び」。職場のメンバーや
受講生、クライアントの方々から
考え方や生き方を学んでいます。二
つ目は目的を達成するための「学
び」。これは知識や技術を深く確実
に身に付けて、仕事に役立てたいと
きの学びです。この場合は投資をし
て勉強します。

二つ目の「学び」、何かを修めた
い「学び」の場合は、検定試験や
資格試験を目標にするといいでしょ
う。目的がはっきりしますし、上位
の資格を目指すことでモチベーショ
ンの維持と学びの継続につながりま
す。秘書検定1級試験の内容は重役
秘書として遭遇するケースや考え方
が網羅されており、現役秘書として
感動しどうしても合格したい気持ち
で勉強したことを覚えています。

興味関心を 見極める

近年「大人の学び」について質問
をされる機会が増えたなと感じてい
ます。自ら情報を取るのが苦手な方
もいる一方で、情報過多で選択でき

ない方も多いようです。何を学んだ
らよいか分からない場合は、自分の
目的や希望と学びたいことを掘り下
げてみることをお勧めします。

まずは自分を掘り下げる。資格取
得であれば①一定の限られた期間で
学ぶことができる内容なのか、②自
分の興味はどのくらいか、③時間と
お金と労力をかけるに値するの
か、そして最も重要なのが、④本当に
「今必要な学び」なのかを検証するこ
とです。

また、著書や研究をリサーチし
て、そのテーマの専門分野、関係者
を把握して、セミナーで学べるかを
検討します。最近はオンラインの無
料セミナーやフロントセミナーも開
催されています。興味のままに参加
したら後は直感で「学びたい！」と
感じるかどうかです。

私の中では①講師や著者の情熱、
②説得力（学んで意義があるかな
ど）、③内容のユニークさがポイン
ト。大抵はこの三つがそろっていると
ビッと心に響き、時間とお金と労力
をかける方向に進めるのです。

コミュニティやSNSグループ、
有料会員として参加している団体が
リリースしている情報はかなり参考
になるのでチェックするとよいと思
います。

今オススメの 「学び」

最近出合った「学び」で面白かつ
たのは、「産業ジェロントロジー」で
す。ジェロントロジーとは「老年
学」のこと。加齢による人間の変化
を、心理・教育・医学・経済・労
働・栄養・工学などさまざまな分野
から学際的に研究する学問です。こ
れに「産業」という言葉が加えられ
た「産業ジェロントロジー」は、産
業分野に特化して加齢を考えていき
ます。シニア世代との職場のコミュ
ニケーションについて調べていたと
きたどり着き、関連団体の代表者の
情熱とエビデンスにビビッときてひ
かれ「学び」に至りました。シニア
を「働く人」「加齢」という観点から
ポジティブに捉えているところがユ
ニークです。

そのほかにも、私が取り組んでい
る「学び」はまだまだあります。来
年度受験予定の資格試験も勉強中。
気になることはどんどん学んでいま
すが、一方で「学び」のマネジメント
も大切です。断捨離、更新、学び
直しなども意識しながら、今後も楽
しく学んでいきたいと考えています。